



副院長就任のご挨拶

副院長 久保田 雅也



4月に島田療育センター副院長として赴任しました久保田です。3月までは国立成育医療研究センター神経内科に12年勤務し、小児神経疾患の急性期、及び慢性期の診断・治療・ケアに関わってきました。患者の年齢は0才から（場合によっては胎児期から関わることもあり）50才前後までで、約2割弱は成人患者でした。医学部卒業後、都立神経病院、都立府中療育センター、都立八王子小児病院、東京大学小児科に勤務し、小児科・小児神経科・新生児科のトレーニングや診療・臨床研究を行っていました。専門は神経生理学で脳波、脳磁図、磁気刺激、各種誘発電位、アイトラッカーを駆使した神経疾患の病態解析です。

医学部入学前に工学部の大学院で応用原子核工学を学び、1年間IT系の企業でSEをやっていました。（当時はIT、SEという言葉すらありませんでしたが）

当時の大学院での研究内容（核融合炉の設計）は現在の臨床には全く役に立っていませんが、自由な研究室の雰囲気は、現在臨床研究を行う際の構えを作ってくれたと思います。また、1年勤務した企業の様子をネットで久しぶりに覗いたら「ブラック企業

大賞」というあまり嬉しくない賞をもらっており、辞めてよかったとあらためて思いました。当時は既に終身雇用制は崩れており、転職や再受験はさほど敷居は高くなかったように思います。親は卒倒しましたが。

島田療育センターで何ができるかゆっくり考えていこうと思います。医療の基本は入念な観察であり、神経症候学は見て触って考えたことだけが身に付きます。それは乳児が（胎児も実は同じ）何でも見て触って感じて、日々、自他の区別をつけ、自分の身体は自分のものであり、自分の行為は自分が主体であるという当たり前のことを感得しているのと同じです。今後はこれまで身につけたことの応用だけでなく新たな発見につながればよいと思っています。

療育という概念はわかっている者にはわかっているのですが、説明しようとするといふに説明しにくい日本的なものを含むと思っています。これを歴史を尊重しながら、一度前提から洗い直す作業を実践の中からは行って、新たな療育像を共有することができたらと考えています。

2020年度

新職員オリエンテーションを実施しました

暖冬の影響もあり桜が散り始めた4月1日の朝、新型コロナウイルス感染拡大という例をみない状況の中でしたが、ひとりも欠けることなく新入職員を迎える事ができました。多摩8名、はちおうじ4名の計12名が入職し、理事長からの言葉とともに緊張した様子で辞令を受けとっていました。

辞令交付のあとは、中途採用を含めて32名が4月1日～4月9日まで7日間にわたりオリエンテーションを受講しました。例年は実技研修も多くありますが、今年は新型コロナ感染防止により席を離れた状態での座学がほとんどでしたので、講師には内容を工夫してもらいましたが、例年より理解しにくい部分もあったかもしれません。本来は席を寄せ合い、一緒に休憩時間を過

ごすなどして同期の輪ができていきます。今年は席を離し、かつ休憩中も私語を控える状況でありましたが、今後、同期の繋がりを意識して過ごしていただきたいと願っています。

配属先では実践をとおして利用者様の為にレベルアップの助けになりますよう、上司や先輩の皆様におかれましてはご指導の程よろしくお願い致します。

（庶務科長 駒場 直子）



2019年度

地域療育等支援事業 実施報告

本事業は東京都からの委託により、ご自宅等で暮らし障害をお持ちの方やそのご家族が“地域で療育的な指導や相談を受けられること”を目的とした事業です。当センターの2019年度の実績を報告します。

【外来療育等指導事業・訪問療育等指導事業】

障害のある方や発達上のご心配があるご本人、ご家族に対し、専門職が当センター内外でご相談に応じています。センター内で対応する“外来療育等指導事業”では、新たな試みとしてセブンクローバーの独自事業の体験会で活用させていただきました。当センターのグループ指導は半年～1年のクールで募集をしていますが、初めて療育に触れる児童やご家族に対し、どのような取り組みや指導を受けられるのかを知っていただく機会として単回のお試し会を実施しました。はじめはハードルが高いと感じられることも、体験会を通して療育を身近に感じていただくことで、その後のグループ指導に繋がりがやすくなったかと思えます。

“訪問療育等指導事業”は、外出が困難な方や自宅での指導が必要な方に対し、専門職がご自宅等を訪問し、対応方法や工夫の提案、ご不安・ご心配に対するご相談に応じています。その他、外部公共機関での講習会形式で、OTによる“姿勢や体幹の育ち”や“お箸(手先)の使い方”に関する講義・体験学習の会を各1回、STによる“ことばの育ち”や“食べること(摂食)”に関する講習会を各1回、心理による“ペアレントトレーニング・ミニ講座”を年2回に実施しました。今年度は「家族向け発達支援講座」としてシリーズ化し順次開催する予定ですが、直近の感染症拡大状況により変更が生じる可能性があります。詳しくはホームページ等でお知らせしていきます。

在宅医療や在宅支援に関する家庭での個別相談も年間8件あり、定期的な訪問サービスの利用に繋がる前や単発で、専門職の相談が受けられる場所が地域にあることで、少しでもご家庭の安心に繋がればと思っております(表1)。講習会の内容の影響もありますが、相談対象者の年齢は就学前後の児童、次いで0～2歳児(表2)が多く、居住地別では多摩市と八王子市の方から多くのご利用がありました(表3)。

【施設支援一般指導事業(施設支援)】

障害のある方や発達上のご心配がある方に対応している通所施設の職員からのご相談に応じ、現場での対応の工夫、配慮などを助言させていただいています。スタッフが施設へ出向く訪問相談と、施設の方に当センターへお越しいただく来所相談の方法があります。昨年度は81か所の施設に対し、延べ125件の相談に応じました。例年、生活が落ち着き状況が見えてくる1学

期後半以降にご相談を検討される施設が増えてきますが、昨年度は2月以降新型コロナウイルスの感染拡大および緊急事態宣言の影響から、児童の休園や休校が相次ぎ、施設支援の予定も多数延期・中止となりました(図1)。施設種別では6割が保育園・幼稚園から、3割弱が小学校等からのご相談でした(表4)。今年度も委託元の東京都が当事業の意義を尊重し、年度予算を超過した件数も実施を許可して下さったおかげで、多くのご相談に対応することができました。

職種別ではST、心理職に次いでOTの対応が多く(表5)、ご相談内容もことばや口腔機能の発達、発達全般やコミュニケーション、集団生活での対応、運動機能や姿勢・体幹等、多岐に渡りました。現場を拝見し、職員の方々からも普段の様子をお聞きすることで、それぞれの対象児(者)や環境に合わせた工夫や支援方法を職員の方々と共に検討することができます。そしてその内容を各施設で(職員間、時にはご本人・保護者の方々と)共有していただき、さらには他の利用者様やクラス運営としての活用、職員のスキルアップ等、“その後につなげる支援”をお願いしています。

多くの施設にご利用いただけるよう同施設からは概ね年3回程度のご利用に留めていただいておりますが、事情がおありの場合はご相談ください。

(社会福祉士 市川 香織)

表1 療育相談・訪問相談の対応職種延べ数(人)

医師	Ns	PT	OT	ST	心理	SW	その他
2	0	1	9	5	5	6	3

表3 療育相談・訪問相談の相談者居住地域(件)

多摩	八王子	町田	稲城	日野	その他	合計
26	26	8	9	7	6	82

表5 施設支援一般指導事業の派遣職種延べ数(人)

医師	Ns	PT	OT	ST	心理	SW	その他
3	4	4	24	60	54	133	3

表2 療育相談・訪問の対象児(者)年齢(件)

0-2歳		14
3歳	年少児	9
4歳	年中児	12
5歳	年長児	18
6-8歳	小学校低学年	22
9-11歳	小学校高学年	3
12-14歳	中学生	3
15-17歳	高校生	0
18歳以上		1
合計		82

表4 施設支援一般指導事業の実施数(施設種別・市別毎)

	多摩市		八王子市		町田市		稲城市		日野市		その他		合計	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
特別支援学校	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	2	2
保育園	11	23	11	18	3	3	3	4	3	4	1	3	32	55
幼稚園	7	13	4	7	2	3	0	0	0	0	0	0	13	23
小学校	9	10	7	13	4	4	1	1	1	1	3	5	25	34
中学校	2	2	1	1	0	0	2	2	0	0	1	1	6	6
障害児(者)機関	1	1	1	1	0	0	0	0	1	3	0	0	3	5
その他(学童舎)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	30	49	25	41	10	11	6	7	5	8	5	9	81	125

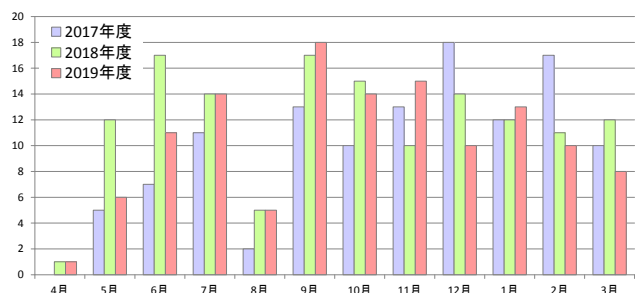


図1 施設支援一般指導事業の月毎の実施数の分布(施設)

多摩桜の丘学園

分教室 卒業式 を実施しました

3月19日(木)、島田分教室にて高等部卒業式が行われました。卒業生3名が、12年間の学校生活を終えました。校長先生からお1人お1人に卒業証書が授与されました。

3月24日(火)は、小・中学部の卒業式が行われ、小学部1名、中学部1名が卒業されました。卒業証書を立派に受け取った2名は、それぞれ中学部と高等部に進学していきます。

(編集委員 高橋 節夫)



分教室内の会場



卒業生の入場



卒業証書の授与

デイケアセンター

幼児部 卒園式 を実施しました

3月26日(木)、厚生棟研修室を会場に「幼児部・卒園式」が行なわれました。卒園者9名の皆さんは、晴れやかな表情の中にも緊張感がみられました。ご家族の方につきそわれた卒園者お1人お1人に「卒園証書」が読み上げられ、授与されました。会場からはあたたかい拍手が何度も送られました。

式の後半には、卒園者の皆さんの成長の様子が素敵に編集されたスライドショーとして発表されました。卒園おめでとうございます。

(編集委員 高橋 節夫)



素敵に飾られたアーチ



卒園証書の授与



卒園者の皆様に記念品贈呈

ご支援・ご協力に感謝いたします

感染対策中の当センター利用者様、職員に心温まるご支援・ご協力を頂きました。

① 音楽の贈り物

井上 鑑様と鑑組(あきらぐみ)の皆様より利用者様に、オリジナルライブ映像(歌と演奏)を送っていただきました。



② ハンドメイドマスク

手塚典子・陽咲菜様より、1回目68枚・2回目98枚をご寄付頂きました。



③ フェイスシールド

多摩市社会福祉協議会様よりフェイスシールド 250枚をご寄付いただきました。



④ 使い捨てマスク

以下の皆様から、使い捨てマスクのご寄付をいただきました。

- ・島田療育センターを守る会様..... 300枚
- ・税理士法人 古田土会計様..... 1,000枚
- ・NPO法人 ジャパンハート様... 4,000枚
- ・戸田建設株式会社様..... 400枚
- ・多摩市社会福祉協議会様..... 500枚
- ・株式会社ウィ・キャン様..... 300枚
- ・匿名の方..... 300枚



おしらせコーナー



ネットワークしまだ と統合しました

発達障害全般に関する地域の理解促進と、当センターの地域支援活動をご案内してきた広報誌「ネットワークしまだ」は、この度島田療育センターニュースと統合することとなりました。地域に向けた情報発信や「発達相談Q&A」といった人気コーナーは、島田療育センターニュースの中で引き続き掲載いたします。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



地域療育等支援事業のご案内

①外来療育等支援事業(療育相談)

当センターにて障害、発達に関するご相談に応じます。

②施設支援一般指導事業

発達のご心配や障害のある方を受け入れている地域施設、機関職員の方を対象にご相談に応じます。

③訪問療育等支援事業(訪問相談)

地域施設や家庭へ赴いて、健康診査や介護指導などを行います。

窓口は支援部 TEL 042-374-2101(直通)

費用は 無料です。

どうぞお気軽にお問い合わせください。

2面にて、当事業の実施報告を掲載しています。

ティーチャートレーニング

開催のおしらせ

2020年夏、島田療育センター発達支援センターセブクロバーでは、近隣地域の先生を対象に、発達障害など特別なニーズのある子どもへの具体的な支援方法を検討する連続講座を開催いたします。

日時 2020年8月3日・4日(連続2日間)

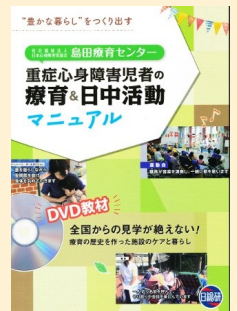
対象 小学校や幼稚園・保育園、学童などで発達障害など特別なニーズのある子どもに関わっている先生、支援員等の方 15名程度

費用 16,000円+税

※新型コロナウイルス対策により、延期等の対応を取る可能性もございますので予めご了承ください。

書籍「重症心身障害児者の療育&日中活動マニュアル」

当センターの療育や日中活動の中で培った技術やアイデアをまとめた一冊です。「映像から学ぶ『療育』と『ケア』」のDVD付き。全国書店にて販売中です。



今年もヤギがやってきました



病棟・外来問わず大人気のヤギさんたちが、4月からまたやってきました。夏に向けて伸びてくる草をもりもり食べてもらう予定です。



ひとこと

島田の敷地内にある草むらは朝と午後ではガラッと雰囲気が変わります。朝はタンポポみただけどタンポポではないブタナ、ノゲシが咲いていて黄色が目立ちますが、午後になると閉じてしまうので白い花だけになります。タンポポといえば、今年は終わってしまいましたが、島田周辺に咲いているのは珍しく西洋タンポポより日本タンポポが多いのです。



発行者 社会福祉法人 日本心身障害児協会 **島田療育センター**
〒206-0036 東京都多摩市中沢1-31-1

TEL 042 (374) 2071 (代表)

URL <https://www.shimada-ryoiku.or.jp/tama/>

スマホの方は
こちらから

島田療育センター



フォロー
ほっけ



フェイスブック

